

学校課題（○課題 →要因）

○算数以外の個別最適な学びと協働的な学びが不十分
→3つの資質・能力を育む授業方法と評価方法が不明確なまま授業実施
○異年齢学級の学びの日常化に学年間格差（異年齢活動、議論する道徳、算数以外の学び合い等）
→互いに実践交流する機会が少ない
→新しい学校観、授業観への恐れ
○つながる教室プロジェクトで教科担任制の導入未実施
→各校の授業形態の違いと ICT 機器の不具合や操作ミス
※教育評価「こどものすがた」改革
本年度に効果検証を実施予定

市の方針と重点

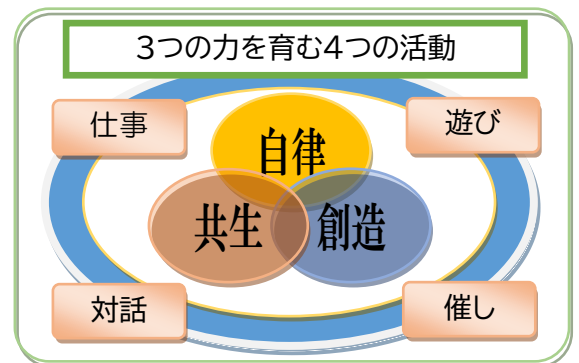
<基本方針>
家庭・地域との協働を基盤に『共に支え合い、個のよさや可能性を広げる教育』をめざして
<願う子どもの姿>
自分や仲間の個性や能力を理解し、共に高め合い、自らの可能性を広げる児童生徒
<目標>
・校長のリーダーシップのもと、教職員や家庭・地域コミュニティとの協働による積極的な攻めの学校経営
・児童生徒の個性や能力の理解を組織的にに行い、一人ひとりの将来に生きる力を育てる指導
・教師としての資質能力を高めるために学び続け、高い専門性と指導力、感受性を身に付ける研修

〔学校の教育目標〕 自ら学び、心豊かでたくましい方県の子

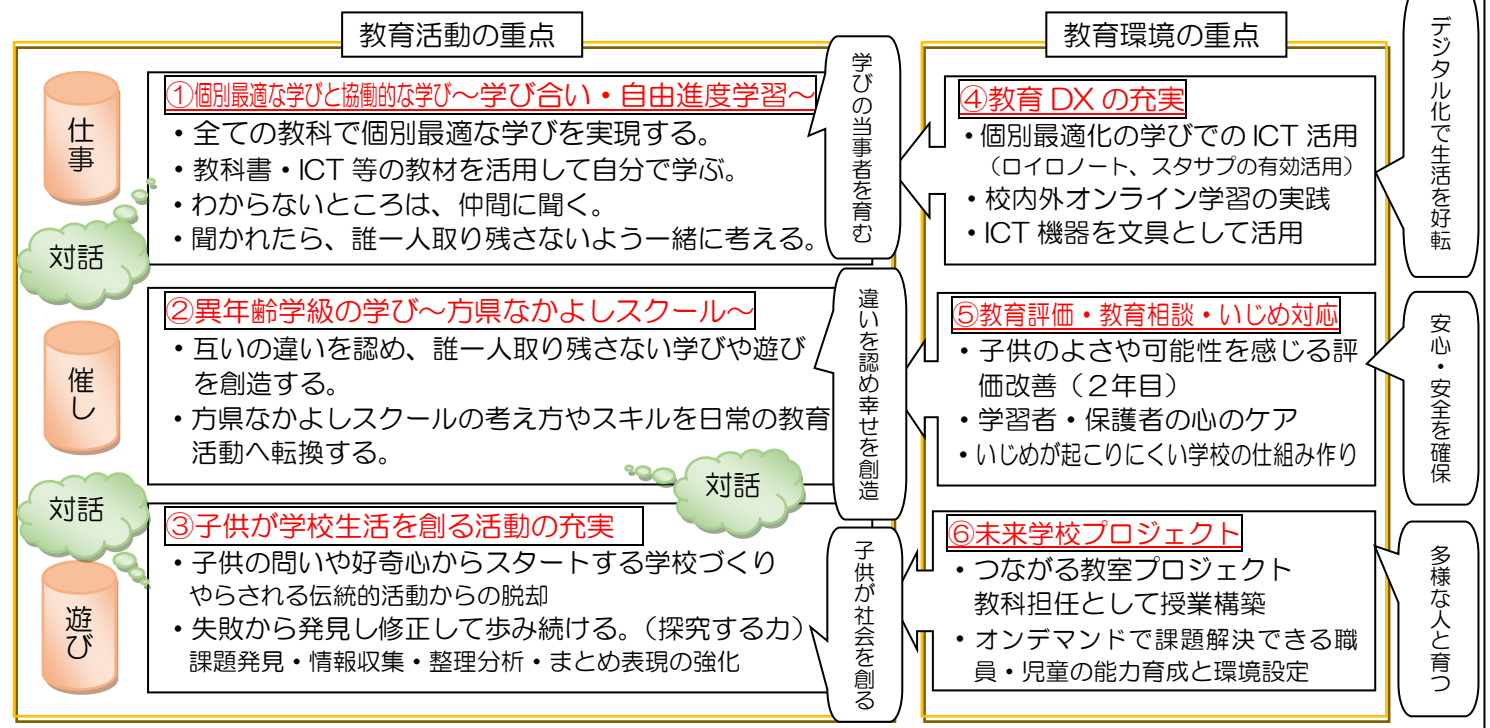
◆学校教育目標を具現する3つの力と4つの活動

3つの力	めざす子ども・職員の姿
自律	・ 自分で思考・判断し、行動できる。 ・ 自分で計画を立て、行動できる。
共生	・ 多様性を認め尊重し、誰一人取り残さないよう他者と共によりよく生きる。
創造	・ 常識にとらわれない発想や工夫で、新たな価値を生み出す。(Critical Thinking)

<子ども>
教わり上手から
学び上手へ
<職員>
教え上手から
学ばせ上手へ



◆自律・共生・創造を育む6つの重点（仕事・催し・遊び・対話のバランスよい活動の展開）



◆地域全体で子どもを育むために

学校を含む地域全体で子どもたちを育むコミュニティ・スクールの充実
＜令和7年度の挑戦！＞

1. 学校運営協議会
・ 地域ぐるみで教育を推進する仕組みづくり
2. 地域との連携
・ 方県地区の人から学ぶキャリア教育「方県人から学ぶ ～仕事編～」の実施
・ 方県総合防災訓練への参画（各自治体自主防災会授業として参加）
・ 学校と家庭、地域で実施する運動場の雑草対策

学校運営協議会

～学校評価の活用～

- 第1回 学校経営の全体構想を検討
- 第2回 中間報告会を開催し、達成度と今後の方向を議論する。
- 第3回 学校評価の結果をもとに、学校経営について見直し、来年度の方向を検討。